

会計別予算の収入支出の状況

会計名	予算現額 (A)	収入済額		支出済額		
		金額 (B)	比率 (B/A)	金額 (C)	比率 (C/A)	
一般会計	87億3,909万円	43億2,039万円	49.4%	32億5,618万円	37.3%	
特別会計	国民健康保険事業	39億6,517万円	15億1,110万円	38.1%	15億9,905万円	40.3%
	下水道事業	11億100万円	2億5,749万円	23.4%	4億5,298万円	41.1%
	老人保健医療	172万円	0万円	0.0%	35万円	20.3%
	介護保険事業勘定	20億7,861万円	7億5,821万円	36.5%	8億2,523万円	39.7%
	介護サービス事業勘定	1,195万円	463万円	38.7%	515万円	43.1%
	公共用地先行取得事業	1,600万円	0万円	0.0%	804万円	50.3%
	後期高齢者医療	3億3,471万円	1億2,467万円	37.2%	1億1,021万円	32.9%
合計	162億4,825万円	69億7,649万円	42.9%	62億5,719万円	38.5%	

公営企業会計収入支出の状況

区分	予算現額 (A)	執行済額 (B)	比率 (B/A)	
水道事業	収益的収入	4億2,687万円	2億1,023万円	49.2%
	収益的支出	4億2,300万円	1億9,166万円	45.3%
	資本的収入	6,188万円	594万円	9.6%
	資本的支出	2億5,100万円	1億507万円	41.9%
温泉事業	収益的収入	2億4,400万円	1億1,186万円	45.8%
	収益的支出	2億3,800万円	9,694万円	40.7%
	資本的収入	11万円	0万円	0.0%
	資本的支出	6,200万円	2,214万円	35.7%

基金（貯金）の現在高（9月末）

基金の種類	平成22年9月末残高	町民の皆さん一人当たりの残高
財政調整基金	3億4,730万円	1万2,582円
その他の基金	4億8,683万円	1万7,636円

町債（借金）の現在高（9月末）

会計	平成22年9月末残高	町民の皆さん一人当たりの残高
一般会計	67億1,642万円	24万3,313円
下水道事業特別会計	47億6,768万円	17万2,717円
公共用地先行取得事業特別会計	7,690万円	2,786円
水道事業	29億2,102万円	10万5,819円
温泉事業	1億8,845万円	6,827円

※町民の皆さん一人当たりの残高は、平成22年9月30日現在の人口27,604人を使用して算出しています。

基金とは

財政調整基金とは、経済不況による税収の大幅な減少や、災害による思わぬ支出の増加などに備えるためのもので、家庭で言うと通常の貯金に当たります。

一方、その他の基金とは、まちづくり基金、育英奨学基金などで、特定の目的のために積み立てるお金（貯金）です。家庭で言うと、マイホーム購入資金や子どもの入学資金など、通常の貯金とは別に積み立てる貯金に当たります。

町債とは

町債とは、町が公園や道路、学校をつくる時など、お金がたくさん必要な時にその資金を調達するため、国や県、銀行などから借り入れるお金（借金）のことです。町債を財源とした施設は、長期にわたって利用されることから、町債も将来にわたって少しずつ返済していきます。これは現在利用する方と将来利用する方が公平に負担しあうということです。

町債の現在高（前年同期比）は、一般会計では3億4,755万円、下水道事業特別会計では3億4,612万円、公共用地先行取得事業特別会計では1,400万円、水道事業会計では1億2,851万円、温泉事業会計では4,309万円の減少となっており、平成10年をピークに減少傾向にあります。